

## 結城紬製造を担う機屋へ

### — 研修産地を支える担い手のキャリアステップ —



図1 平成17年度 研修作品



図2 研修風景



図3 オリジナル帯地  
上：全体 下：部分拡大

#### 【背景】

茨城県結城市を中心とする地域で生産される結城紬は、伝統的工艺品として指定される日本を代表する絹織物です。その生産工程は分業体制で行われていますが、生産の中核的な役割を担うのが、産地内で「機屋（はたや）」と称される製織業者で、茨城県本場結城紬織物協同組合の組合員となります。

平成17年度に当所の結城紬後継者育成研修事業を受講した外山憂有子氏が、約20年ぶりの茨城県本場結城紬織物協同組合新規加入者となり、新たに機屋としてのキャリアをスタートされました。

#### 【キャリアステップ】

外山氏は、約1年間の研修を修了後、平成18年から結城市内の機屋に所属し、本場結城紬の織手としてのキャリアをスタートし、平成21年には、「結城紬・織り子店 rico」としても活動を開始しました。結城紬の生地を用いた小物製品の製造・販売や、ワークショップの開催など、当時、織手自らが産地外へ向けて積極的に情報発信を行う事例が少ない中で、先進的な取組でした。

また、織手としてキャリアを積む一方で、当所の各種支援制度を活用しながら、従来の生産形態にとらわれない新たな製品開発に挑戦し、オーダーメイドによるオリジナル着尺地の開発にも取り組んでいます。

これらの開発を通じて、結城紬の製造に必要な技術の習得を着実に積み重ねてきました。

表1 キャリアステップ

平成18年	結城紬後継者育成研修修了後、織手として就業
平成21年	結城紬・織り子店 rico として活動開始
平成23年	デニム調結城紬の開発支援（技術相談・研修）
平成24年	オリジナルオーダー着尺地の製造開始
平成27年	捺染による手紬糸の絣染色（共同研究）
平成29年	伝統工芸士（結城紬 製織部門）認定
令和元年	店舗兼工房として、rico_labu オープン
令和7年	本場結城紬織物協同組合加入
	本場結城紬作品展で茨城県産業戦略部長賞受賞

機屋として活動を開始後、初めて制作した編みぼかし染色とすり込み染色の技法を応用したオリジナルの帯地は、第51回本場結城紬作品展において、無地・縞部門で茨城県産業戦略部長賞を受賞しています。

今後の結城産地を担っていく一人として、さらなる活躍が期待されます。